

平成 30 年度 第 1 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 30 年 4 月 12 日 午後 5 時 15 分から

場所 宍粟市役所 401 会議室

第1回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成30年4月12日（木） 午後5時15分 ～ 午後5時55分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 401会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

教育委員	西岡章寿	教育長	杉本健三	委員
	中山由香里	委員	前田純恵	委員
	金本一二	委員		

事務局

前田正人	教育部長	山本信介	教育部次長
田路正幸	教育部次長	進藤美穂	教育総務課長
世良繁信	学校教育課長	中尾善弘	こども未来課長
西林文隆	施設整備課長	原 真弓	社会教育文化財課長
池本雅彦	学校給食センター所長	福元佳代	教育総務課副課長
小河秀義	市民協働課長	西田征博	人権推進課長

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

中山委員

6 前回会議録の承認

平成29年度第12回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件
前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の4点について西岡教育長が報告した。

(1) 小学校・中学校の入学式について

4月9日に市内7中学校、はりま一宮小学校開校式、入学式を含め、12小学校の入学式が挙行され、委員各位にはご出席ありがとうございました。30年度は、29年度に比べ、小学校全体で58人、中学校全体で13人の減となっている。児童・生徒には元気で希望を持って、これからの学校生活を送ってくれることを期待する。

(2) 平成30年度教育委員会・学校園所の組織、人事について

平成30年度教育委員会事務局の組織、人事については、後ほど協議報告事項でご説明いたしますが、教育部については、正職員、臨時職員含め、総勢322名の体制でスタートする。

(3) 平成30年度主な取り組みについて

教育環境整備については、山崎西中学校大規模改修事業の二期工事、山崎東中学校大規模改修事業及び千種小学校屋内運動場の屋根改修事業を予定している。また、全中学校の特別教室に教師用タブレット・大型モニターを導入し、「わかりやすい授業」の一助として教育環境の整備を推進していく。学校教育については、こころの教育推進事業を拡充し中学校においても実施することとしている。また、昭和30年以降に開校、開園となった校歌、園歌について保存し、誰でもいつでも聞けるよう取り組みを進めたいと思っている。子育て環境整備については、城下学童保育所を新築し、受け入れ体制を定員30人から60人に拡充することにより、子どもの健全な育成と働く保護者のサポートの充実を図っていく。図書館においては、学習スペースを設け高校生、中学生等が自主的な学習に取り組める環境を整備する。学校給食センターにおいては、第3子以降の児童・生徒の給食費を無料とし、子育て世帯の経済負担を軽減し子育て支援を推進する。また、給食センターの異物混入については、危機管理並びに調理作業マニュアルを徹底し、年々減っているが、ゼロに近づけることを目標に安全・安心の給食づくりに努める。

(4) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

幼保一元化については、今年度は、山崎南中学校区と一宮北中学校区で平成31年4月の開園に向けて、認定こども園の園舎建設に取り組んでいく。予定では、5月中旬に入札公告を行い、建設業者が決定次第、6月議会に、契約のための議案を追加提出し、工事に着手する予定となっている。平成31年3月には、新園舎が完成し、4月には、認定こども園を開園させる予定である。また、一宮南中学校区においては、3月15日から4月13日までを期間として、運営法人の第2次募集を行っているが、現在のところ、応募が見込めない状況であるので、公立での運営を前提に、新園開設目標を平成32年4月として、今後、地域の皆さんと協議会の設置に向けて協議を進めていく。

8 協議報告事項

(1) 宍粟市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について

資料1「宍粟市教育委員会公印規則の一部を改正する規則」により、進藤教育総務課長が報告した。

(2) しそうの子ども生き生きプラン

別冊1「しそうの子ども生き生きプラン」により、世良学校教育課長が報告した。

(3) 学校園所長等一覧表について

資料2「平成30年度宍粟市学校園所長等一覧表」により、進藤教育総務課長が報告した。

(4) 宍粟市教育委員会事務局の組織について

資料3「宍粟市教育委員会組織図」、「教育委員会事務局事務分掌表」により、進藤教育総務課長が報告した。

(5) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

資料4「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、学校規模適正化について進藤教育総務課長が、幼保一元化について中尾こども未来課長が報告した。

(6) 29年度3学期小中学校で認知したいじめ事案について

資料5「宍粟市内小中学校で認知したいじめ事案について」により、世良学校教育課長が報告した。

(7) 学校給食における異物混入対応について

資料6「平成29年度学校給食異物混入状況」により、池本学校給食センター所長が報告した。

(8) その他

30年度児童生徒の状況及び学校給食実施計画について

資料7「平成30年度宍粟市学校園人数一覧表」「平成30年度小中学校・幼稚園の在籍者数及びクラス数」等により、進藤教育総務課長が、資料8「平成30年度学校給食実施計画表」等により、池本学校給食センター所長が報告した。

人権啓発冊子「そよ風」について

冊子「そよ風」により、西田人権推進課長が報告した。

「平成30年度宍粟の教育」について

冊子「平成30年度宍粟の教育」により、世良学校教育課長が報告した。

第13回さつきマラソン大会について

さつきマラソン大会申込状況について、小河市民協働課長が報告した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(前田委員)

現在の不登校の児童生徒数と不登校数の減少の要因を教えてください。

(学校教育課長)

不登校の数については、近隣市町や全国的な報道では増加傾向にあるが、市内では過去3年間減少傾向にある。平成29年度の不登校は29名、平成28年度は34名で、5名の減となっている。不登校は、長期欠席の内数で、病気、その他、不登校を合わせて長期欠席としてカウントする。不登校の定義としては、年間30日以上欠席をいう。また、不登校数の減少の要因は、学校現場の先生方が、非常に丁寧に家庭や子ども達に寄り添ったケアをしていただいている。学校サポートチームの活動が3年目になるが年々質も向上していて、学校現場から喜ばれている。学校サポートチームは、指導主事、児童生徒支援スーパーバイザー、スクールソーシャルワーカー、適応教室指導員、青少年健全育成センター相談員で構成されている。学校や時には家庭にも行き、子どもの支援にあたっている。

(杉本委員)

認知したいじめ件数について、平成28年度139件、平成29年度172件で、認知事案の増加は、先生方、児童生徒、保護者等のいじめがあつてはいけないという意識が強まっている現われであると思う。38ページ「2教師が子どもの様子から気づき対応した結果、認知に至った件数9件」は、市内の小中学校の先生が、いじめは絶対いけないという考えの現われであると感じている。いじめの対応について、今後も継続してほしい。

(金本委員)

情報モラルの問題について、教えて欲しい。

(学校教育課長)

38ページ「3(例)5名の児童がLINEでグループ作り、その中で他の児童の悪口を書き込みあった。そのうちのひとりが、被害児童に悪口の内容を打ち明け、被害児童が教師に対して相談したことで認知に至った」事案がある。SNSを媒介したいじめ事案は、かなり多く報告されるようになってきた。LINEやチャットというアプリケーションが、子どもの間で大変流行っている。市教委では、ネットパトロール事業を実施して、インターネット上のトラブルについても早期対応を心がけたいと思っている。

(金本委員)

千種高校で、情報モラルについて色々と勉強をしている。子ども達が情報モラルについて勉強できるような劇を行っているので、子ども達も劇を観て、勉強しやすいと思う。地元の高校が頑張っているのので、その活用方法を年度当初に検討し、活用いただけないかと思う。例えば、教育研究大会の最初にでも披露すれば、校長方にも知ってもらえると思う。

(教育部長)

昨年も千種高校が主で、ふれあい文化祭で劇を実施した。千種校区から実施するのが一番やりやすいと思うので、小中から連携して検討していきたい。

9 次回会議の招集について

平成30年5月11日(金)午前9時30分から、平成30年度第2回宍粟市教育委員会を開催するとした。

10 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午後 5 時 55 分終了